　　令和　　年　　月　　日

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

ＳＩＰ推進センター長　殿

（所在地）

（機関名）

（部署・職名）

（契約代表者氏名）

**委託研究経費繰越理由書**

【経理様式５】繰越連絡書に記載した繰越額が発生した理由について、以下のとおり報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 契約番号 |  |
| 事業名 | 研究開発とＳｏｃｉｅｔｙ ５．０との橋渡しプログラム |
| BRIDGE課題名 |  |
| 研究題目 |  |
| 委託研究担当者 |  |

１．繰越理由

|  |
| --- |
|  |

２．本繰越による全体研究計画及び年次研究計画への影響

|  |
| --- |
|  |

※繰越の対象となるのは、以下の事由に該当するものです。

　　当初予想し得なかったやむを得ない事由により研究計画記載事項に変更が生じたもので、かつ、研究目的の達成のために研究費を繰越して翌事業年度に実施する必要があるもの。

　　また、事業年度末に判明する直接経費の執行残額（例：計画時には予想できない超過勤務費、消耗品費、消費税相当額等の見込み差額）が発生する場合についても、翌事業年度に本研究の実施のために直接的に必要な経費として有効に使用できることを前提に当該直接経費の執行残額を繰越すことが可能です。

※契約番号、BRIDGE課題名、研究題目及び委託研究担当者は契約書に記載されておりますので、そちらを参照の上記入してください。なお、「契約番号」は、直近のものを記入してください。